皮膚癌登録ﾚｼﾞﾒﾝ一覧

No.	ﾚｼﾞﾒﾝ名
0001	アベルマブ療法 biweekly

アベルマブ療法 biweekly

対象疾患	メルケル細胞癌
投与間隔	2週1コース

催吐リスク	最小度（催吐性）リスク

〇レジメン内容（※制吐薬（下記参照）等の内服薬が処方される事があります。）

番号	抗癌剤	薬品名・規格	投与量	手技	投与ルート	点滴時間・速度	投与日 1	2	3	・・・	14					
RP.1		アセリオ	650mg	点滴静注	メイン	15分	〇									
				インラインフィルター使用												
RP.2		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	15分	〇									
		ポララミン	5mg													
RP.3		生理食塩液	250mL	点滴静注	メイン	60分	〇									
	〇	バベンチオ	10mg/kg													
RP.4		生理食塩液	50mL	点滴静注	メイン	全開	〇									

〈参考〉最小度催吐性リスクの注射抗がん薬に対する制吐療法

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
	抗がん薬投与前				
	通常予防的な制吐療法は推奨されない。				

●制吐療法の一般的な全体像を示したものであるが、個々の症例に応じた柔軟な対応が望まれる。

●各薬剤の推奨用量をダイアグラム内に数値